



ターボ HD 1080P タレット & バレットカメラ ユーザマニュアル

UD.6L0201D1998A01

弊社の製品をご購入いただきありがとうございます。ご質問、ご要望がございましたら、お気軽に販売店にお問い合わせください。

このマニュアルは以下に対応します

タイプ	モデル
タイプ I	DS-2CE56D1T-IR3Z
タイプ II	DS-2CE16D1T-AIR3Z DS-2CE16D1T-IR3Z

このマニュアルは技術的に不正確な点や印刷上の問題がある場合があります。内容は通知なしに変更される可能性があります。更新はこのマニュアルの改版時に追加されます。弊社では、マニュアルに記載された製品や手順は迅速に改善・更新していきます。

プライバシーに関する注意

監視に関する法律は裁判管轄地域によって異なります。この製品を監視目的で利用される際には、製品のご利用が、お住まいの地域裁判管轄地域のすべての関連法に違反しないことを確認してください。

カメラのパラメータおよび機能については、製品の使用をご確認ください。

規制情報

FCC 情報

FCC 準拠: この装置はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定される、デジタルデバイスの制限に適合することが確認されています。これらの制限は、商業環境で装置を運用する際に、有害な干渉に対して妥当な保護を提供するように設計されています。この装置は電波を発生または使用し、無線周波数エネルギーを放射する可能性があり、取扱説明書にしたがって設置および使用しなかった場合、無線通信に有害な干渉を引き起こすことがあります。住宅地域でこの装置を運用する場合、有害な干渉を引き起こす可能性があり、その場合はユーザ側の負担で干渉に対処する必要があります。

FCC 条件

このデバイスは、FCC ルール Part 15 に準拠しています。運用は以下の 2 つの条件にしたがうものとします:

1. このデバイスが有害な干渉を引き起こす可能性がない。
2. このデバイスは望ましくない操作を引き起こす可能性のある干渉を含め、あらゆる干渉受信を受容しなければならない。

EU 適合宣言

CE この製品、および一該当する場合には一提供される備品も含めて、「CE」マークの認定を受けており、低電圧指令 2006/95/EC および EMS 指令 2004/108/EC、RoHS 指令 2011/65/EU に規定される、関連する整合規格に適合しています。

2012/19/EU (WEEE 指令):
この記号が付いている製品は、欧州連合 (EU) の地方自治体の未分別廃棄物として処分できません。適切にリサイクルするために、本製品は同等の新しい装置を購入する際に、お近くの販売業者に返却いただくか、指定された収集場所で処分してください。より詳細な情報については以下をご確認ください: www.recyclethis.info

2006/66/EC (バッテリー指令):
本製品には、欧州連合 (EU) の地方自治体の未分別廃棄物として処分できないバッテリーが含まれています。

特殊バッテリー情報に関する製品資料をご覧ください。バッテリーにはこの記号が付いており、カドミウム (Cd)、鉛 (Pb)、水銀 (Hg) を示す文字も記載されています。適切にリサイクルするために、販売業者か、指定された収集場所に返却ください。より詳細な情報については以下をご確認ください: www.recyclethis.info

特殊バッテリー情報に関する製品資料をご覧ください。バッテリーにはこの記号が付いており、カドミウム (Cd)、鉛 (Pb)、水銀 (Hg) を示す文字も記載されています。適切にリサイクルするために、販売業者か、指定された収集場所に返却ください。より詳細な情報については以下をご確認ください: www.recyclethis.info

カナダ産業省 ICES-003 準拠

本装置は CAN ICES-3 (A)/NMB-3(A) 基準要件を満たしています。

1 概要

1.1 製品の特長

このカメラには高感度に対応する新世代のセンサーと先進的な回路基板設計技術が採用されています。高解像度、低歪曲および低ノイズなどの機能が実現されており、監視システムや画像処理システムに最適です。主な特長は以下の通りです:

- 高性能 CMOS センサーと高解像力による高品質な映像;
- 低光量対応;
- 自動切り替え可能な赤外線フィルタ対応;
- 設定可能な OSD メニュー、パラメータ;
- オートホワイトバランス、オートゲインコントロール、電子式シャッター制御および内部同期のサポート;
- スマート IR モード;
- 2.8-12mm モーター駆動可変焦点レンズ;
- 様々な設置要件に対応する先進的な 3 軸設計。

1.2 概要

1.2.1 タイプ I カメラの概要

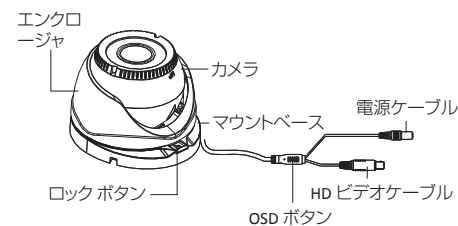


図 1-1 タイプ I カメラの概要

1.2.2 タイプ II カメラの概要

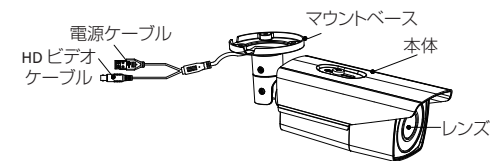


図 1-2 タイプ II カメラの概要

2 設置

始める前に:

- パッケージの中の機器の状態に問題がなく、すべての組立部品が含まれていることを確認してください。
- 設置の際は、すべての関連装置の電源がオフになっていることを確認してください。
- 設置環境に関連する製品の仕様をチェックしてください。
- 損傷を避けるため、電源供給が電源出力に適合していることを確認してください。
- 壁面が、カメラとマウント部品の重量の三倍の重量に耐えられる十分な強度を持っていることを確認してください。
- 壁面がセメントの場合、カメラの取り付け前に拡張ネジを打ち込む必要があります。壁面が木製の壁である場合、セルフ タッピング ネジを利用してカメラを固定することができます。
- 製品が正しく機能しない場合、販売店または最寄りのサービスセンターに連絡してください。修理や保守のためにカメラを自分自身で分解しないでください。

2.1 タイプ I カメラの設置方法:

1. 同梱のドリルテンプレートにしたがい、ドリルで天井にネジ穴とケーブル孔を開けてください。



図 2-1 ドリルテンプレート

2. ネジをゆるめ、クリッププレートを取り外して本体を取り出します。

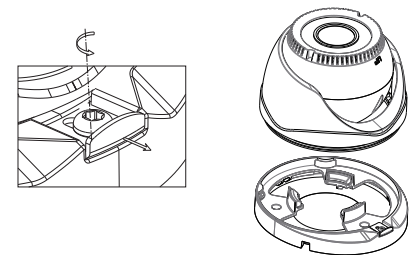


図 2-2 クリッププレートの取り外し

3. マウントベースを PA4*25 ネジで天井に固定します。

- 4. ケーブルをケーブル孔を通して配線し、対応するケーブルを接続します。
- 5. 本体をマウントプレートに取り付け、クリッププレートと差し込みます。
- 6. レンチでネジを締めます。

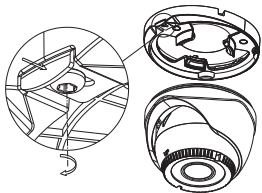


図 2-3 タレットカメラの取り付け

- 7. カメラを下図にしたがって調整し、最適な角度に合わせます。

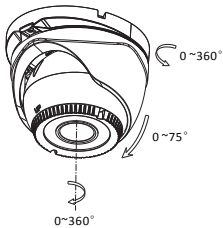


図 2-4 3 軸の調整

2.2 タイプ II カメラの設置



バレット型カメラにはウォールマウントと天井マウントのどちらも適用できます。この節では天井マウントをサンプルとして取り上げます。ウォールマウントを採用する場合も、天井マウントの手順を参考にすることができま

方法:

- 1. 同梱のドリルテンプレートにしたがい、ドリルで天井にネジ穴とケーブル穴を開けてください。
- 2. 同梱のプラスチックの拡張ボルトをネジ穴にハンマーで打ち込みます。



図 2-5 ドリルテンプレート

- 3. ケーブルをケーブル孔を通して配線し、対応するケーブルを接続します。
- 4. 同梱のネジでカメラを天井に固定します。

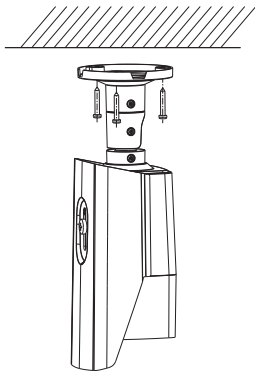


図 2-6 カメラの天井への固定

- 5. 監視角度を調整します。

- 1). 1 番調整ネジをゆるめ、パン位置を調整します (0° ~ 360°)。
- 2). 1 番調整ネジを締めます。
- 3). 2 番調整ネジをゆるめ、チルト位置を調整します (0° ~ 90°)。
- 4). 2 番調整ネジを締めます。
- 5). 3 番調整ネジをゆるめ、回転位置を調整します (0° ~ 360°)。
- 6). 3 番調整ネジを締めます。

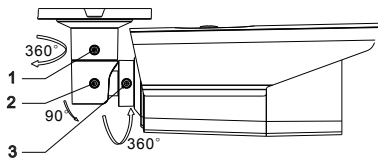


図 2-7 3 軸の調整

3 メニュー操作

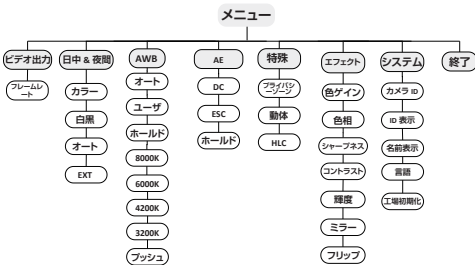


図 3-1 メインメニュー



メニューを選択してカメラのパラメータを調整するには、同軸カメラコントローラ (別売り) が必要です。



カメラをバックエンドデバイスに接続すると、PTZ コントロールモードでマウスを使ってカメラをコントロールできます。方向キーはメニューのジョイスティックと同様に使えます。

3.1 スマートフォーカス

メニューボタンを押してメニューインターフェイスに入ります。メニューインターフェイスが表示されない場合、ジョイスティックの方向キーのいずれかを 3 秒間長押しして、フォーカシングインターフェイスに入ります。ジョイスティックを動かし、フォーカス +、フォーカス -、ズーム + およびズーム - でカメラのレンズを調整します。

3.2 ビデオ出力

フレームレートは 25 fps/30 fps に設定できます。

3.3 日中 / 夜間

日中と夜間の切り替えわりでは、カラー、白黒、オートまたは EXT が選択できます。オートおよび EXT モードでは IR LED をスマートまたは CDS に設定できます。IR LED にスマートが選択されている場合、IR LED の明るさを設定できます。

DAY/NIGHT	
1. MODE	AUTO
2. D TO N	63
3. N TO D	63
4. DELAY TIME	20
5. RETURN	RET

図 3-2 日中 / 夜間

SPECIAL	
1. PRIVACY	ZONE
2. MOTION	
3. HLC	
4. RETURN	RET

図 3-3 特殊

3.4 AWB

AWB にはオート、ユーザ、プッシュ、8000k、6000k、4200k および 3000k が選択できます。オートモードでは R-G/B-G ゲインを設定し、屋内 / 屋外を選択する必要があります。AWB モードにユーザが選択されている場合、R/G/B ゲインを手動で設定する必要があります。

3.5 AE

AE モードにはホールド、DC および ESC が設定できます。

輝度 : 輝度は画像の明るさのことを指します。

シャッター : シャッターはシャッター速度を意味します。シャッターはオート、1/25、1/30、1/50、1/60、1/100、1/120、1/250、1/500、1/1k、1/3k または 1/10k に設定できます。

点滅 : 画像のちらつき (フリッカリング) を防止するために、フリッカーステータスを 50Hz/60Hz に設定できます。

BLC : BLC は背景エリアを基準に画像全体の明るさを改善します。BLC ゲインは 0 から 16 ままで設定できます。

AGC : AGC は光量が不十分なシーンでの画像の明瞭さを最適化します。AGC の値は 1-5 に設定できます。

LSC : LSC は周縁部で画像が暗くなったりぼやけたりする現象を補正します。

AWB	
1. MODE	AUTO
2. R-G GAIN	255
3. B-G GAIN	151
4. RETURN	RET

図 3-4 AWB

3.6 特殊

プライバシーゾーン : プライバシー領域を選択します。[マスクパターン] を [オフ]、[グレー]、[白] または [黒] に設定します。SX/EX/SY/EY の値を定義して領域の位置とサイズを指定します。

動体 : 動体ステータスをオンまたはオフに設定します。感度を 0 から 255 ままで設定します。アラームステータスを [アイコン]、[トランス]、[オフ] に設定します。ホールド時間を 0 秒から 255 秒までで設定します。

HLC : HLC は画像の周縁部の明るさを補正します。マスク値としきい値を 0 から 255 ままで設定できます。

3.7 エフェクト

色ゲイン : 色ゲインは色の彩度を変化させる機能を調整します。値は 0 から 255 ままで設定できます。

色相 : 画像の色相 (ヒュー) を 0 から 71 ままで調整できます。

シャープネス : シャープネスは画像システムが再現できる精細さの度合いを決定します。値は 0 から 255 ままで設定できます。

コントラスト : コントラストは画像の中の色と光量の差を増幅します。値は 0 から 255 ままで設定できます。

輝度オフセット : 輝度オフセットは画像の輝度補正を示します。輝度補正の値は 0 か 1 に設定できます。

ミラー : ミラーステータスはオン/オフに設定できます。

フリップ : フリップステータスはオン/オフに設定できます。

EFFECT	
1. COLOR GAIN	200
2. COLOR HUE	200
3. SHARPNESS	25
4. CONTRAST	150
5. BRIGHT OFF.	1
6. MIRROR	ON
7. FLIP	ON
8. RETURN	RET

図 3-5 エフェクト

SYSTEM	
1. CAMERA ID	255
2. ID DISP.	ON
3. NAME DISP.	ON
4. LANGUAGE	ENG
5. FACTORY INIT	OFF
6. RETURN	RET

図 3-6 システム

3.8 システム

カメラ ID は 0 から 255 ままで設定できます。ID 表示および名前表示ステータスのオン / オフを選択します。

中国語と英語がメニューの言語として選択できます。工場初期化ステータスをオンに設定することで、カメラをデフォルト状態に復元できます。

3.9 終了

終了、または保存して終了が選択できます。